

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2024年6月 第67号

発行：今泉愛子

編集：田中英司 嵯峨崎のぞみ 米谷紗央里 増田悟

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

第68回UICHインターナショナルコンGRESS in バリ インドネシア

文：田中英司

2024年4月21日～26日第68回インターナショナルコンGRESSがインドネシア・バリ島で開催され、レ・クレドール・ジャパンより8名が参加して参りました。今年は世界各国より約500名のメンバーが集い、高級リゾート地域の2つのホテル、Sofitel Bali Nusa DuaとThe Westin Resort Nusa Duaに宿泊しました。

1日目 4月21日、参加者は各々デンパサール空港に到着。空港内の保安区域に待機していたインドネシアメンバーによる盛大な歓迎を受け、手配されたミニバンでそれぞれのホテルへと移動しました。その晩はSofitel Bali Nusa Duaでオープング・ガラ&ウェルカム・ディナーが開催され、参加したメンバーは久しぶりに再会した仲間たちとの話に花を咲かせました。

2日目 4月22日、各国代表者とボードメンバーによる年次総会が開催され、South East & Oseania Zone Directorの住吉、日本の代表として今泉、齋藤が出席。

同時に初めてインターナショナルコンGRESSに参加したメンバーを対象に、レ・クレドールの元General SecretaryでEducation & Training CommitteeのメンバーであるMichael Romei氏よりレ・クレドールとコンGRESSの理解を深めるプレゼンテーションがありました。

またCSR活動の一環として、Les Clefs d'Or Awardの候補者たちによるFerdinand Gillet追悼植樹がSofitel Bali Nusa Duaにて行われました。このコンGRESSの期間中には、ウミガメの放流や、レ・クレドールメンバーの才能とネットワークを活かして作成された塗り絵の販売など、様々なCSR活動が行われました。一方、その他のメンバーはバリ島内のツアーに参加。ホテルからバスで3時間程の距離にあるバリ島特有の伝統的なPenglipuran村とKintamani山脈を訪れ、活火山と湖を眼下に壮大な景色を楽しみながら昼食をとりました。夜は全参加者がJukung Baliというビーチリゾートに集まり、シーフードとバリの伝統芸能を堪能しました。



3日目 4月23日はエデュケーションデイ。
はじめに Raffles の Vice President Operations, AsiaのMr. Richard Schestakによる、テクノロジーと 伝統の融合について講演を拝聴しました。
その後、パネリストとして、Alliantsの共同設立者兼CEOのMr. Tristan Gadsby、Forbes Travel GuideのExecutive Vice President, Chief Strategy, Innovation & Operation OfficerのMr. Stuart Grief、MicrosoftのGlobal Director, Travel, Transport & HospitalityのMr. Shane O'Flahertyの3名によるホスピタリティーとAIの関係についてのパネルディスカッションが繰り広げられました。
昼食を挟み、午後の全員参加のワークショップでは、AlliantsのMr. Tristan Gadsbyによるプレゼンテーションを皮切りに、参加メンバー500名が小グループに分かれ、用意されたシナリオに沿ってお客様のリクエストへの対応にAIの活用法を実践するエクササイズを行いました。
その晩のカントリーディナーでは、アジア各国からの参加者が集まり、St. Regis Baliでメンバーの交流を楽しみました。

4日目 4月24日、参加者全員が集うオープンフォーラムが開催されました。開催国であるレ・クレドールインドネシア プレジデントのMr. Yoga Rahiyang によるオープニングスピーチの後、 General SecretaryのMr. Burak Ipekciより各国のプレジデント、ボードメンバーが紹介され、昨年のイスタンブールで開催された kongress以来逝去されたメンバーへの黙とうを捧げました。その後、International PresidentであるMr. Randy Santosによるプレジデント活動報告、続いて各ボードメンバーから Les Clefs d'Or Award2024の報告、CSRレポートや今後のプロジェクトや各地域の活動についての報告がありました。また kongressのスポンサーであるAmerican Expressによる最近の旅行者の傾向についての報告がありました。





その晩は、LoCCA Sea Houseという海沿いのプールサイド施設に集合。全員がドレスコードである白い服を着用し、メンバーは夕食と交流を楽しみ、目の前で打ちあがる花火で華やかな夜は締めくくられました。

5日目 4月25日、バリ島グランドツアーに参加。切り立った崖の上に建つ10世紀の海の寺院、ウルワツ寺院や巨大石造が圧巻のGWKカルチャーパークを散策。

そして最後の夜は、警察車両に先導され、InterContinental Bali Resort Jimbaranに移動。全員インドネシアの民族正装バティックを纏ったガラディナーをもって第68回UICHインターナショナル कांग्रेस 閉幕しました。ガラディナーでは、2024年のLes Clefs d'Or Awardの審査結果が発表され、各国から選ばれた精鋭の候補者の中から、フランス・パリのFour Seasons George VコンシェルジュであるMs. Julie Benhaimが受賞しました。メンバーは最後まで交流を楽しみ、仲間との別れを惜しまました。

6日目 4月26日、各国からの参加者は、素晴らしい内容で構成された第68回UICHインターナショナル कांग्रेसの思い出を胸に、仲間との再会を誓い、それぞれバリ島を後にしました。



茨城県視察

文：嵯峨崎 のぞみ

6月13日、茨城県の観光の魅力に触れるモニターツアーが、茨城県東京渉外局様の主催でコンシェルジュ向けに開催されました。

はじめに茨城県稲敷郡にあるTree House BonsaiをオーナーであるBonsai MasterのMr. Adam Jonesにご案内頂きました。敷地には盆栽の為の回遊式庭園が広がり、アダムさんがご家族とお住まいの日本家屋があります。参加メンバーは、アダムさんより英語で盆栽についての説明を受け実際に手入れのお手伝いをさせて頂きました。また針金をかけるデモンストレーションを見せて頂いて盆栽への理解を深めました。

Tree House Bonsaiの後、地元で長く愛されている彩美亭で絶品ポークステーキを頂きました。元々精肉店を営んでおり、その後レストランをオープン。茨城のブランド豚の『常陸の輝き』や『ローズポーク』が楽しめます。ボリューム満点350グラムのポークステーキは食べ応えがあり、美味しいお肉は付け合わせのお野菜とも相性抜群でした。

午後は大和ホースパークに伺いました。藤田哲会長が馬を愛情をこめて育てていらっしゃる、老若男女誰でも乗馬を楽しめる環境で乗馬初心者のメンバーもリラックスして身を委ねることができました。園内では衣装を身に着け流鏑馬も体験できます。丁寧に指導して頂けるので初めてでも安心して楽しむことが出来ます。広大な敷地ではホーストレッキングが出来るほか、BBQ、ツリーハウス等も人気があります。

最後は笠間市にある、磯蔵酒造へ伺いました。5代目の蔵主の磯 様にお迎え頂きご説明を頂きました。磯蔵酒造では地元の水と米にこだわり、昔ながらの人の手で造る酒造りをしています。大正時代に建てられた建物は趣があり、酒蔵の他には、地元の作家が手掛けた酒器などを販売している店舗と、雰囲気も素敵なバーがあり、試飲を楽しめます。日本酒だけが毎年同じ味が出せる事等を教わり、お話しと見学を通して日本酒への理解を深める事が出来ました。

今回のモニターツアーを通して茨城県の知られざる魅力に触れ、多くのお客様に体験して頂きたいと感じました。



Getting to know our members!

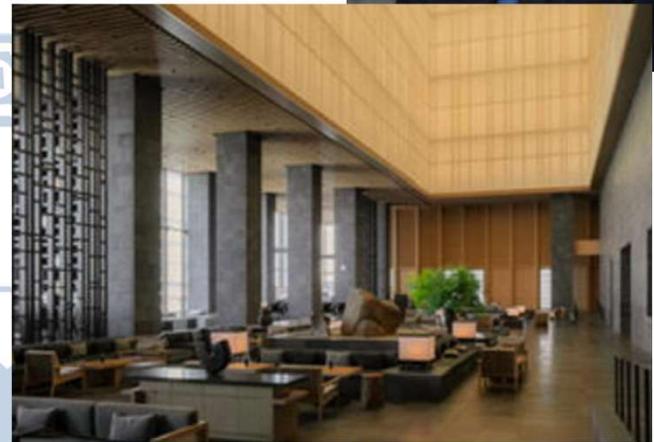
アマン東京 チーフコンシェルジュ 竹内 秀太

コンシェルジュ歴：6年
レ・クレドール歴：2年



ホテルのハイライト

伝統と現代を融合させた都会の隠れ家で、アマン初の都市型ホテルです。東京の中心、大手町の地上33階に位置するアマン東京は、都会のダイナミズムを静寂で包みこむ、天空のサンクチュアリです。約30メートルの高い天井が開放的なロビー、他にはない広さながら84部屋と小規模に抑えたプライベート感溢れる客室、大きな窓一面に広がるパノラミックな東京の景色と、刻一刻と変わりゆく空を眺める、東京にいることを忘れる非日常のステイをお楽しみいただけます。



休日の過ごし方

趣味としてスポーツ観戦を楽しんでおり、観たい試合に合わせて休みを取ることがよくあります。特にUFCやRIZINなどのMMA、ボクシング、アイスホッケーの試合はお気に入りのチームや選手がいるため、よく観戦しています。ペイ・パー・ビューを利用することで、録画再生を含め、いつでもどこでも試合を観られるのが非常に嬉しいですを観られるのが非常に嬉しいです。

とっておきの場所

沖縄の瀬底島です。コロナ禍の際、2カ月半にわたりホテルのオープニングに関わったため、滞在することができました。

島内には信号もなく、飼われているヤギが脱走することもあり、道路にはヤドカリが散歩している姿が見られます。夜には蛍が舞い、早朝には島と本島を結ぶ橋を渡って海を見渡すと、ウミガメが泳いでいるのを見られます。自然環境が素晴らしく、人々も温かく、心に残る思い出の場所です。

一番好きなレストラン

好きなレストランはいくつもありますが、思い出深いのは二つあります。まず、故郷の石川県山中温泉にある「だんくら」の冷たいおろしとろろ蕎麦は絶品です。昔から蕎麦が好きで、ここでの一杯は忘れられません。また、最近訪れたアマン京都内の「鷹庵」では、旬の食材を活かした日本料理を堪能できます。ペアリングも素晴らしく、特別なひとときを楽しむことができます。

定例会

5月の定例会は、Sorano Hotel内Roof Top Barで開催いたしました。

- 能登半島地震の義援金送り先について石川県国際観光課に相談し、候補先をいただきました。会の趣旨や目的、また先方の義援金使途等を確認するとの報告を受けました。合計金額は、536,500円(共催オークション 366,500円、レ・クレドールチャイニーズタイペイからの義援金 160,000円、日本コンシェルジュ協会メンバー 寄付金 10,000円)

- 台湾地震への義援金をインターナショナルコンGRESSにてプレジデントの今泉より、レ・クレドールチャイニーズタイペイプレジデントのMr. Kevin Linにお渡ししています。合計金額は、204,500円(内訳はレ・クレドールジャパンより 100,000円、定例会内寄付金 95,500円、日本コンシェルジュ協会メンバー 寄付金 9,000円)でした。

- 1月のセミナーについて箱根DMOとの打ち合わせを5月9日に開催致しました。来年2025年1月15日、16日に1泊2日で開催予定、仮のスケジュール、会場等の共有を行いました。Main SpeakerはThe Pierre Chief Concierge: Mr. Maurice Dancerをお迎えする予定になっております。

- 第2部ではインターナショナルコンGRESSの報告がありました。*詳細は記事参照

6月の定例会は、白金台にある八芳園にて開催されました。

- 能登半島地震の義援金、茨城県視察ツアーの報告、レ・クレドール海外メンバー(Mr. Sebastian Fernandez)の来日に伴うお食事会の開催報告、並びにレ・クレドール韓国のプレジデント(Mr. Jonathan Seungjoon Lee)の来日報告がありました。

- 2024年度セミナーに関して、先日、箱根DMOの方々とは2回目のミーティングが行われました。今回のセミナーのテーマは、「後進育成」そして、日本コンシェルジュ協会メンバーとレ・クレドールジャパンメンバー同士の絆と日頃の感謝、心寄せ合う特別な時間にしていきたいと思っています。

- 株式会社モダニストアンドカンパニー代表取締役 山田 健仁 さまより、レ・クレドールジャパンホームページの見直し(変更)、新しいクラウドサービスの導入、会社概要や実際に行われた魅力的なイベント内容についてお話いただきました。

- 今後のCSR活動に関して、我々だからこそできる何かを各班に分かれ徹底的に話し合いをしました。予定していた時間では物足りないほどの熱いトークが繰り広げられました。

